

♡ ことばの力 ♡ からだの力 ♡ こころの力

# 園長室だより

城南学園幼稚園 園長 太田友子 令和2年7月1日

「小学校につながる確かな学びの基礎を培う」幼稚園



夏本番です！

元気に乗り越えましょう！

夏野菜の、なすやきゅうり、おくら、ミニトマトがプランター・狭しとばかりにのびのびと育っています。



そのまわりを、虫網を手に子どもたちが蝶を見つけては歓声をあげています。

いつもなら見慣れた景色なのでしょうが、今年はそれら一つ一つに今までに感じたことのない輝きを感じるのには私だけでしょうか。

いよいよ夏本番、酷暑を迎えます。新型コロナに加え熱中症も危険です。体調管理には十分留意していただき、検温で確認の上、登園をお願いいたします。

お誕生会ができました！

4・5・6月生まれのお友達、おめでとうございます。

6月24日(水)には年中児、26日(金)には、年少児、年長児のお誕生会を開きました。4・5・6月生まれ



の子どもたちをお祝いしました。今年は、お誕生日のお子さんの保護者の方に限定して出席していただきました。

「恥ずかしい」「緊張する」という子どもらしい自然な姿が見

られ、保護者の皆さまの温かいまなざしに見守られる中、ほのぼのとした誕生会になりました。ありがとうございます。

幼児期の子どもたちでは、2歳で大人の感情の原型が完成し、5歳にかけてさらに細分化されて豊かに発達していきます。

嬉しい、悲しいと言う単純な感情だけでなく、怒りや後悔、未来への希望など多様な感情体験を重ねていきます。そのとき、子ども自身が誰かにお話を聞いてもらうことにより、その感情体験がより意識され豊かに育まれていきます。

お家の方からのメッセージでは、入園当初心配したことを思い出されながらも成長の喜びに涙して語られるものがあり、私たちも大変感激しました。



「子どもが主役」です。

- 共に育てましょう -

園の教育方針の一つ、「共に育てる」について、あらためてお話をさせていただきます。

幼児期の成長は著しいものです。言葉、身体能力、認知能力、社会性等、その後の人生の基礎となる力が芽生える時期です。その柔らかな芽が確かなものへと育っていくよう、適切な支援をしていくことが求められる時期です。

ですから、家庭生活と園生活との中で子どもがよりよく育つということを意識して、共に育てていきたいと考えているのです。

子どもたちは家庭生活を中心に多くのことを学びとってきています。今、一番気になることは、目を合わさない子どもが少なくないことです。話し掛けられて聞こえていても、振り向かない姿が見られます。コミュニケーションは、言葉だけでなく、まなざし、声のトーン、表情も含めてやりとりをすることです。現在、マスクを着用しているため、よけいに見逃しがちです。「目を見てね」と一言声を掛けるとすぐにできるのですが、習慣付けていきたい力の一つです。



相手の目を見て話す、聞く。家庭生活でも、大切なことを話す場合、きちんと体を向けて目を見て話すことをこれまで以上に意識してほしいと思います。くれぐれも「言い放し」、「言葉のかけ流し」にならないよう、意識してみてください。

また、この幼児期では、成長の個人差や個別差が大きい時期とも言われています。他のお子さんと比べて心配されたり焦られたりすることもあるかと思いますが、ここは我慢のしどころです。「子どもが主役」。



ですから、お子さんのよりよい成長のために、しばらく見守るのか、今どのような手立てが必要なのかなど、子育ての相談ができる場をいかにもつことかです。

保護者の皆様とは「対等」、共に育てるパートナーとして、情報を共有し、作戦を立て、家庭と園で実践する…。そうしようと互いに思い合える関係づくりができたのなら、これほど心強いことはないですよ。

改めまして、そのような関係づくりにご協力ください。